

# 京都障害児教育 夏季研究集会



**場所** 7月28日(土) 京都教育文化センター

13:00~17:00 (大ホール)

7月29日(日) 京都教育文化センター

10:00~16:00

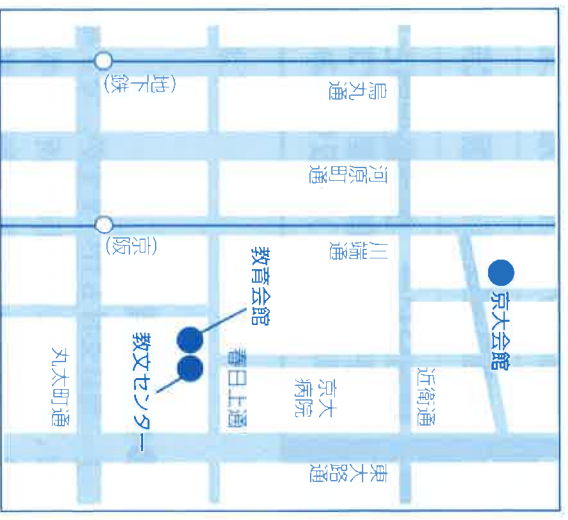
**日程** 28日(土) 12:30~受付 13:00~開会の集い

13:35~文化行事

14:15~記念講演

29日(日) 10:00~分科会 12:00~昼食

13:00~16:00分科会



## 授業に新しい風を——授業づくりとカリキュラム——

清水 貞夫氏 (宮城教育大学名誉教授)

### 記念講演

清水貞夫先生は、宮城教育大学、長野大学社会福祉学部教授を歴任され、現在、「民主教育を進める宮城の会」の代表をされています。

主な著書には、「障害児教育の教育課程・方法」「障害児のための授業作り」「個別の教育支援計画と生涯ケア (共著)」「キーワードブック障害児教育特別支援時代の基礎知識 (編集代表)」「インクルーシブな社会をめざして」「障害者福祉の現状・課題・将来 (共著)」など、多数あります。「授業研究」と言うことを数多く聞く今日、今回の講演では、「授業づくりとカリキュラム」という視点から、清水先生が主張される①「障害からの制約は環境との関数で理解する」という障害観、②「教育指導は子どもへの発達の働きかけ」で子どもの発達の実態を知る、③「学校・家庭・地域での子どもの生活把握」のための家庭連携・地域連携と言った点を踏まえて学んでいきたいと思えます。この講演を通じて、私たちが今まで「子どもの障害・発達・生活実態を捉え教育課程作りをする」と言ってきたことを、もう一度新しい障害観に立って見直し、インクルーシブ教育がインクルーシブな社会を作っていくことを学んでいきたいと思えます。

## ♪～歌うこと話すこと誰かとながれる～♪

青野 浩美さん (歌) 新 真由美さん (ピアノ)

青野浩美さんは、同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻声楽コースを卒業された、京都出身のソプラノ歌手です。気管切開をし、スピーチカニューレを使って歌われます。歌われる曲は、童謡からオペラまで。今回は短い時間ですが、その歌声をお楽しみください。

**青野浩美さんの紹介**  
「毎日歌う生活から一転、車椅子の生活へオペラの卒業公演を控え、毎日練習に明け暮れていた生活がある日突然できなくなりました。全身の自由が奪われ、日常生活の全てに介助が必要になりました。現在はリハビリのおかげで、車椅子の生活は自立の状態になりました。」

### 気管切開

私を新しい症状が襲いました。「無呼吸発作」です。医師の診断は、「また無呼吸になった時、気管切開していないと命の保障はない」ということでした。気管切開をすると声を失う…と、手術の前日まで歌いました。手術後、何とか話したいとスピーチカニューレを試しました。話すリハビリ中に思いました。「話せるなら、歌うこともできるかもしれない!」と。スピーチカニューレで歌うなんて前例がないから無理なのでは? という意見もありました。でもやってみないと分からない! 前例がないなら作ってやる! それが私の生き方だから!! チャレンジすることで可能性を見いだす。工夫することで可能性を広げていく。そして、『前例』を作れば良い。今の私にできること。当事者として話すこと。気管切開していても歌うこと。医療的ケアが必要でも誰かの力になれるかもしれない。」

<紹介パンフ12号より一部省略し転載しました>

### 文化行事・ミニコンサート



# 分科会

レポーター報告や講演を踏まえて、参加者全員で討論をします。  
会場は京都教育文化センターです。

分科会名		共同研究者	会場
1	学童期（特別支援学級）の教育	越野和之（奈良教育大学）	102号室
2	LD・ADHD・高機能自閉症・アスペルガーの子どもの発達と教育	高城寛志（寝屋川市発達相談員）	101号室
3	思春期・青年期の教育	小畑耕作（和歌山・きのかわ福祉会）	203号室
4	障害の重い子どもの発達と教育		
	①肢体障害の子どもの生活と教育	羽田千恵子（滋賀県野洲養護学校）	302号室A
	②知的障害の子どもの生活と教育（3歳頃まで）	原田文学（兵庫県立いなみ野特別支援学校）	302号室B
5	自閉症の子どもの発達と教育	井上洋平（奈良教育大学）	103号室
6	発達基礎講座（新版K式発達検査に基づき）	狗巻修司（神戸大学）	301号室
7	特別分科会 放課後保障と卒業後の生活づくり 障害者自立訓練事業「リエルタ」（「学ぶ作業所」「卒業後の学びの場」）の取り組みと放課後保障	丸山啓史（京都教育大学）	202号室

＜お断り＞演題・分科会名で文言的に一部修正する場合がありますことをご了承ください。

## ●参加要項

- 1、当日受付も行いますが、できるだけ下記の下記の要領で事前申込をしてください。（郵送、FAX、メール可）
- 2、参加申し込み用紙に所定の事項をご記入の上、下記までお送りください。
- 3、申し込みと同時に参加費を取りまとめて、「郵便為替」または「現金書留」でご送金ください。  
—納入された参加費については、返却できませんので、ご注意ください。当日支払でも、参加は可能です。
- 4、参加費は、一人3,500円（父母・学生2,000円）です（資料代等を含む）。
- 5、申込先：〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13 京都府教育会館2階府立高教組  
京都障害児教育研究センター宛（TEL.075-751-1645）（FAX.075-752-2988）  
Eメール：sho-ken@kyoto-fuko.com（「夏季研参加申込」と記入の上、お申込ください。）  
郵便為替口座：00990-0-312690 加入者 京都障害児教育研究センター
- 6、申込期限は、7月6日（金）必着。早い目にお申込ください。申込手続きが完了しますと、ご連絡先に参加証のはがきをお送りします。申込受付が遅い場合は、参加証のはがきを郵送できない場合もあります。当日受付で申し出ただければ結構です。  
（尚、団体申し込みについては参加証のはがきはお送りしませんのでご了承ください。）  
事前申込がなくても、当日受付も行いますので、ご参加ください。
- 7、保育を希望される方は、必ず事前に「7月6日までに」申し込んでください。希望される方には、事務局から当日までに連絡をします。当日受付はできません。保育料は1日に3,000円（食費以外の諸費込み）です。
- 8、宿泊は各自でお願いします。なお、駐車場は近くにありませんので公共交通機関をご利用ください。  
京都駅からは、①京都市バス206号系で約25分熊野神社前下車。②市営地下鉄で丸太町下車、乗り継いでバス202・204・93号系で約8分熊野神社前下車。③京阪電車では、神宮丸太町で下車、5番出口より歩いて約5分。

## 参加申込用紙

1. 氏名	男・女	(勤務先)
2. 住所	〒	電話番号
3. 参加日	2日とも参加	1日のみ参加（28日・29日）
4. 希望される分科会		
5. 保育	不要	要（1日のみ ・ 2日のみ ・ 両日 ） お子様の年齢・男女等
6. 参加費合計		円